

# OASIS サプライヤー識別番号(OIN)の割り当て

下記は、サプライヤーのビジネスサイトの所有権移転または住所変更がある場合に、新たなサプライヤーOIN (OASIS 識別番号)が割り当てられる場合、あるいは既存のサプライヤーOIN を使用し続ける場合に関するガイドランスである。

## 1. 何によって OIN は決まるのか？

- a. ビジネスの各サイトまたはビジネスが実施される物理的場所
- b. 品質マネジメントシステム(QMS)認証書に記載されている組織の各サイトまたは各所在地

**注記:** 同じビジネスのためにいくつかの活動が行なわれる「サプライヤーの敷地(キャンパス)」がいくつかのサイトに区分けされており、各サイトの住所表示が異なっている場合、そのキャンパスはキャンパス内の主要サイトの住所表示により、1つの OIN を付帯する 1つの所在地として認証済みサプライヤー名簿(CSD)に記載される。当該キャンパス内の各サイトに OIN は割り当てられるが、主要サイト以外の OIN は CSD には記載されないことに注意すべきである。

## 2. OIN が割り当てられると、その番号は当該サイトの有効使用が続く間、当該サイトの OIN であり続ける。サプライヤーのサイト情報に発生する可能性がある変更のうち、サプライヤーの OIN(OASIS 識別番号)に影響を与えない変更の例を以下に示す。

- a. **全ての活動**が行なわれるサイト全体が新しい場所に移転し、その新しいサイトで同じ品質システムならびに同じスコープ が維持される。  
例: サイト全体ならびに全作業を同じ通りの別の場所に移転。
- b. 地域社会が通りの名称または番地を変更する。
- c. 社名を変更する時にサイトの名称も変更する。
- d. そのサイトの所有権が移転されたためにサイトの名称も変更されたが、そのサイトでは従来の活動が続けられる。

**注記:** 上記、いずれの場合でも、認証機関(CB)は認証文書を再発行して、OASIS における情報を更新する必要がある。所有権が移転された場合、認証機関は、品質マネジメントシステムへの影響に応じて、特別監査を実施する必要があるかどうかを判断する必要がある。

## 3. 以前は活動が行なわれていたが現在は閉鎖されているサイトの住所に、新たな OIN 番号(OASIS に新しいサイトを創設)を割り当てる

- a. このような状況は通常は発生しない。新しいサプライヤーOIN を作って割り当てるとするとすれば、それはサイトが閉鎖され、その土地と建物を購入した人が**新たな所有者**となって、それまでと同じような、あるいはそれまでとは異なる活動、経営、品質マネジメントシステム(QMS)により、**新しい**会社をスタートさせる場合に限られる。

4. サプライヤーの詳細情報の修正。修正されることがあるのは以下の2種類の詳細情報である。

a. サプライヤーの詳細情報

- i. サプライヤーの詳細情報は認証機関だけが管理することができる。
- ii. サプライヤーには自社のサイトに関するデータを管理するためのアクセス権がない。
- iii. 認証機関がサプライヤーの詳細を変更した場合、サプライヤーはその変更の「妥当性確認」を行なった上で、承認手続き中に認証機関に対して、その変更を追認する。

b. サプライヤーの窓口(担当者)の詳細情報

- i. サプライヤーの窓口(担当者)の詳細情報は、サプライヤー管理担当(Supplier Admin)によって管理される。審査報告書や認証文書には、連絡先の詳細な情報は記載されない。
- ii. 認証機関は、サプライヤーの窓口(担当者)の詳細情報を管理するためのアクセス権を持っていない。

IAQG 発行の原文はこちらを参照ください。

<https://www.iaqg.org/oasis/oinassignment>